

令和7年度全日本少年少女武道（柔道）錬成大会要項

1. 趣 旨 全国の小学生を対象に基本錬成を主眼とし、柔道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。
2. 主 催 公益財団法人日本武道館・公益財団法人全日本柔道連盟
3. 後援(予定) スポーツ庁・日本武道協議会・公益財団法人東京都柔道連盟
4. 主 管 東京都柔道道場連盟・東京都高等学校体育連盟柔道専門部
5. 期 日 令和7年8月3日（日）午前8時40分整列・9時開会・午後5時閉会（予定）
6. 場 所 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園2-3
7. 参加人員 (1) 基本錬成 800名
(2) 試合錬成 400チーム

8. 参加資格

(1) 参加資格

- (ア) 選手は健康上支障ないと認められた小学生であること。監督は（公財）全日本柔道連盟指導者資格所持者（A・B・Cいずれか）であること。
- (イ) 参加する団体は（公財）全日本柔道連盟に団体登録していること。また、試合錬成に参加する選手は、その団体を通して競技者登録していること（申込書に必ず全柔連メンバーIDを記入のこと）。
- (ウ) 本大会に出場するために臨時に編成された団体は認めない。
- (エ) 同一選手による基本・試合錬成の重複参加は認めない。

(2) 基本錬成

- (ア) 学年・男女は問わないが、基本的な技術（受身など）を習得している者に限る。
- (イ) 参加者は主催者が用意したステッカーを左胸に貼ること（当日受付にて渡す）。

(3) 試合錬成

- (ア) 試合は3人制で実施する。チームの構成は監督1名、選手3名とする。
- (イ) 低学年（3・4年生）の部と高学年（5・6年生）の部に分けて行い、チーム数は1団体につき低学年1チーム、高学年1チームまでとする。必ず決められた学年内（学年適齢）で編成し、2年生以下の参加は一切認めない。
- (ウ) オーダーは体重の軽い選手から配列し、選手が3名に満たない場合は、後詰めとする（大会中に欠員が出た場合も同様とする）。
- (エ) 一旦登録された選手のオーダーは、基本的に変更を認めない。登録された選手の中で、当日体調不良などを理由に選手変更する場合は、開会式前までに申し出ること。開会式以降の選手の交代・補充は認めない。
- (オ) 大会中に欠場した選手または「反則負け」となった選手は、当日の以後の試合に出場できない。
- (カ) 男女の別は問わないが、試合に習熟している者に限る。
- (キ) 監督が低学年・高学年を兼任することは認めない。
- (4) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは、感染が判明した選手については、すみやかに医療機関で治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。
- (5) 脳震盪（のうしんとう）の対応について、選手および監督は下記事項を遵守すること。
 - (ア) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - (イ) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする（なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること）。
 - (ウ) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (エ) 当該選手の指導者は大会事務局および（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

9. 参加方法

(1) 申込方法

インターネットで申し込むこと。全柔連チームID及び監督・選手の全柔連メンバーIDは間違いのないよう登録のこと。詳細はインターネット参加申込受付案内を参照のこと。新規参加団体は、事前に団体登録を行うこと。

(2) 参加費

基本錬成……1人 1,000円

試合錬成……1チーム 7,000円

申込締切期日までに以下に記載の振込先に送金すること。なお、一旦納入された参加費は一切返金しない。

参加者1名につきプログラム1冊、参加章1個を贈る。

- (3) 振込先 三菱UFJ銀行 神田支店 普通3817459 公益財団法人日本武道館特別会計 柔道口
※依頼人欄に、開催案内に記載されているコード番号・都道府県・団体名を記載すること。

- (4) 申込締切 令和7年6月6日（金）

- (5) 申込取消及び登録監督・選手の変更

申込後の参加取消、登録監督・選手の変更は、プログラム掲載の都合上、6月27日（金）までとする。

- (6) 参加服装

選手及び監督は柔道衣（白）を着用すること。また、怪我及び感染症防止のため、上履きを持参すること。

※柔道衣（白）を着用していない者は大道場及び中道場には入れない。男性は柔道衣の下にアンダーウェアを着用することは認めない。

- (7) ゼッケン

参加者は背中に、原則として縦25～30cm×横30～35cm程度の大きさとし、男子は白地に黒文字で、女子は白地に赤文字で、それぞれ所属の団体名と個人名を記入したゼッケンをつけること。広告入りは不可とする。ゼッケンのない選手は参加を認めない。

10. 受付場所及び受付時間

開催日当日、参加団体は中道場棟1階控室において、午前7時30分から8時20分までに受付を済ませること。

11. 錬成内容

- (1) 基本錬成 礼法（立礼・座礼）、模範演武、準備運動、受身、指導稽古。

- (2) 試合錬成

(ア) 低学年・高学年ともに試合はトーナメント方式で行う。

(イ) 国際柔道連盟試合審判規程・国内における少年大会特別規程及び本大会申し合わせ事項による。

12. 表彰

- (1) 低学年・高学年ともに4ブロックに分け、ブロックごとに優秀賞（1チーム）、優良賞（1チーム）、敢闘賞（2チーム）の団体に賞状・賞品を、個人に賞状を贈る。

- (2) 優秀賞のチームに日本武道館より優秀旗（持ち回り）を授与する。

- (3) 優秀賞、優良賞、敢闘賞に入賞したチームは表彰式に参加のこと。

13. 安全対策

安全管理には万全を期すが、大会中万一事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を施す。病院等で診療を受けた場合は、主催者が保険の範囲内で初診料を負担する。健康保険証（コピー可）を持参のこと。

なお、日本武道館では武道大会傷害保険に加入している。

14. 注意事項

監督は会場に滞在する間、自身の団体関係者（保護者等含む）の全ての行動に責任を持たなければならない。監督は試合中に指示を出すことや立ち上がること、また対戦相手や審判、自身の選手を侮辱するような言動は禁止とする。ただし、「待て」から「始め」までの間のみ、自身の選手に対して指示を与えることができる。

15. その他

- (1) 参加申込状況により、入場制限及び座席指定を行う場合がある。

- (2) 大会参加団体には7月中旬に参加受付情報をメールで送信する。

- (3) 主催者公認の報道機関等が撮影した写真が、報告書・新聞・雑誌・関連ホームページ等で公開されることがある。

- (4) 主催者公認の報道機関等が撮影した映像が、録画放送及びインターネットで配信されることがある。

- (5) 主催者では、宿泊等の斡旋業務は行わないので、各自で手配すること。なお、弁当の斡旋については、出場する団体に対して後日案内する。

- (6) 団体登録・参加申込で取得する個人情報は、本大会のための利用のほか、(公財)日本武道館・(公財)全日本柔道連盟からの案内のために利用する場合があります、他の目的には一切使用しません。

〔問い合わせ先〕(公財)日本武道館振興課 TEL 03-3216-5134 FAX 03-3216-5117

全柔連登録については、(公財)全日本柔道連盟 TEL 03-3818-4199

(土・日・祝日を除く、午前10時～正午・午後1時～午後5時)

以上